

# 2014年度 研究センター事業報告書

研究センター名	立命館大学コア研究センター
研究センター長名	勝村 誠

## I. 研究成果の概要

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究センター5ヵ年計画に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなってできるだけわかりやすく記述してください。

### 1. 学術研究事業・プロジェクト事業(国際シンポジウム、月例研究会等)

#### (1) 国際シンポジウム

- ①「北朝鮮研究の新たな視座—生活、文化、歴史」(8月2日)
  - ②東学農民運動120年・日清戦争120年記念「1894、5年の歴史像と東アジアの歴史教育」(9月25日)
  - ③日中韓国際学術会議「金正恩体制出帆以降における朝鮮半島の情勢」(10月30日)
  - ④Global Social Economy Forum 2014 「Breakout Session 04 社会的経済と共有経済」(11月18日)
  - ⑤中村福治教授逝去10周年記念学術シンポジウム「セウォル号沈没事件以後の朝鮮半島と日本」(11月22日)
  - ⑥統一人文学世界フォーラム2014「東北アジアにおけるコリアンの民族主体性の継承と変容」(11月29日)
  - ⑦西江大学との共同シンポジウム「西欧中心主義批判と東アジアの過去・現在」(2015年2月26日)
  - ⑧戦後70年、日韓基本条約50年にあたって「日韓の『和解』のための歴史認識とは」(2015年3月28日)
- #### (2) RiCKs 月例研究会及びヘイトスピーチ特別研究会
- ①第63回: 映画『空色の故郷』上映会&金素英監督トークライブ
  - ②ヘイトスピーチ研究会Ⅰ「教育現場とヘイトスピーチ 師岡康子氏を招いて」: [講演] 師岡康子(弁護士)
  - ③ヘイトスピーチ研究会Ⅱ「ヘイトスピーチとレイシズムを問う—日韓の教育現場と社会の有り方から—」  
:[報告] 中村一成(ジャーナリスト)、元容鎮(コア研究センター客員研究員)、多田一路(立命館大学教授)
  - ④第64回: [報告] 金孝淳(「フォーラム真実と正義」共同代表)「間島特設隊の時代」
  - ⑤第65回: [報告] 池成洙(韓国憲法裁判所憲法研究官)「女性の地位を変えた韓国憲法裁判所の決定—除隊軍人加算点事件と戸主制事件—」
  - ⑥RiCKs・立命館大学政策科学研究科オープンサーチ特別研究会: [報告] 青柳純一(コア研究センター客員研究員)  
「在韓原爆被害者2世の遺稿集(日本語版)を出版して—3・11後の日本で金亨律の生涯に学ぶ」
  - ⑦第66回: [報告] 韓哲昊(韓国・東国大学歴史教育科教授)「韓国の中学・高校の歴史教科書と歴史教育」
  - ⑧ヘイトスピーチ研究会Ⅲ「ヘイトスピーチとレイシズムを問う—日本の社会と教育現場の有り方から—」: [報告] 中村一成、多田一路
  - ⑨第67回: [報告] 金相奎(コア研究センター客員研究員)「戦時体制期における朝鮮人兵力動員の構造—陸軍兵事部の役目を中心に—」
  - ⑩ヘイトスピーチ研究会Ⅳ・立命館土曜講座第3111回: [講演] 木戸衛一(大阪大学准教授)「ヘイトスピーチとレイシズムを考える」
  - ⑪第68回: [報告] 張宏翼(セウォル号惨事特別委員会委員)「4・16セウォル号惨事の特別法の意義」
  - ⑫ヘイトスピーチ研究会Ⅴ: [講演] 中西新太郎(横浜市立大学名誉教授)「『国家主義』・排外主義の現在形—心情と思想のポピュラーな基盤」
  - ⑬第69回: [報告] 元容鎮「記憶戦争—『竹林はるか遠く—日本人少女ヨーコの戦争体験記』と朝鮮人カミカゼ卓庚鉉—」
  - ⑭ヘイトスピーチ研究会Ⅵ: 『終わらない戦争』をみる、コメント: 大池真知子(広島大学)、勝村誠(立命館大学)、高雄きくえ(ひろしま女性学研究所)
  - ⑮第70回: [報告] 轟博志(立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部准教授)「申景濬と朝鮮王朝時代の歴史地理学」
- #### (3) その他: 韓国ドキュメンタリー上映会: 「天安艦プロジェクト上映会」&ペク・スンウ監督トーク(11月7日)

### 2. 研究成果発信事業と新たなMOU締結

- (1) 『コア研究』5号の発行、配布: 特集「関東大震災朝鮮人虐殺から90年」、投稿論文1、寄稿2、研究動向3、新刊紹介6、活動報告等
- (2) ホームページによる情報公開、成果の公開 (3) 東国大学対外交流研究院とMOU締結

### 3. 若手人材育成

- ①第9回次世代研究者フォーラム「現代朝鮮の文化と生活」開催、研究報告15本、特別報告2本
- ②KF(Korea Foundation)による海外韓国学若手研究者奨学生として2名を推薦、受給

## II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2015年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位	
センター長	勝村 誠	政策科学部	教授	
運営委員 学内教員 (専任教員、研究系教員等)	徐 勝	法学部	特任教授	
	文 京洙	国際関係学部	教授	
	山下 高行	産業社会学部	教授	
	桂島 宣弘	文学部	教授	
	大久保 史郎	法務研究科	名誉教授	
	李 康国	経済学部	教授	
	佐々 充昭	文学部	教授	
	中戸 祐夫	国際関係学部	教授	
	鄭 雅英	経営学部	教授	
	権 学俊	産業社会学部	准教授	
	庵途 由香	文学部	准教授	
	倉田 玲	法学部	教授	
	秋葉 武	産業社会学部	教授	
	金山 勉	産業社会学部	教授	
	石川 亮太	経営学部	准教授	
	宋 基燦	映像学部	准教授	
	松本 克美	法務研究科	教授	
	認田 芳憲	立命館アジア太平洋大学	教授	
轟 博志	立命館アジア太平洋大学	准教授		
学内の若手研究者	専門研究員・研究員	裴 始美	R-GIRO	専門研究員
		森 類臣	R-GIRO	専門研究員
	補助研究員・リサーチアシスタント			
	学振特別研究員(PD・RPD)			
博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上在籍院生				
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)	裴 貴得	立命館大学	非常勤講師	
	尹 健次	立命館大学	非常勤講師	
	李 建濟	立命館大学・大阪大学	非常勤講師	
	張 惠英	立命館大学・成美大学	非常勤講師	
客員協力研究員	権 明娥	東亜大学校国語国文学科	教授	
	金 相奎	高麗大学校韓国史学科	博士課程	
	金 賢泰	フォーラム「真実と正義」	事務局長	

	金 晶珉	韓国言論仲裁委員会	教育チーム 次長補佐
	金 政權	立命館大学	客員研究員
	戸塚 悦朗	Ahn Joon Keun Asian Peace Research Center	Research Fellow
	金 賢娥	立命館大学	客員研究員
	李 洙任	龍谷大学	教授
	李 忠濤	高麗大校日本研究センター	HK 研究教授
	宋 在祐	済州大校	教授
	趙 芝英	済州大校在日済州人センター	特別研究員
	許 栄恩	大邱大校	教授
	高 賛侑	園田学園女子大学シニア専修コース	講師
	青柳 純一	コリア文庫	共同代表
	川瀬 俊治	天理大学	非常勤講師
	波佐場 清	大阪経済大学	非常勤講師
	堀田 千里	カーネギーメロン大校 歴史学部	客員助教授
	元 容鎮	西江大校	教授
	竹村 朋子	佛教大学	非常勤講師
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)			
研究所・センター構成員	計 45 名	(うち学内の若手研究者 計 2 名)	

### Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2015年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	勝村誠	済州4・3事件真相調査報告書<日本語版> 翻訳	共著	2014年12月	済州4・3事件真相究明及び犠牲者名誉回復委員会	済州4・3事件真相報告書作成企画団	329-355
2	桂島宣弘	『东亚近世历史和思想的地平线』	共著	2014年7月	暨南大学出版社(中国・広州)	張憲生編	1-22
3	大久保史郎	「日本国憲法と権力の分立」 「基本的人権と平和の保障」 生田勝義・大平祐一・倉田玲・河野恵一・佐藤敬二・徳川信治・松本克美(著)『法学ことはじめ』所収	共著	2015年3月	法律文化社	生田勝義・大平祐一・倉田玲・河野恵一・佐藤敬二・徳川信治・松本克美	134-151, 152-170
4	李康国	Piketty and Inequality from the Perspective of Globalization and Neoliberalism, in Why Does Capital Earn More than Labor? (Korean)	共著	2014年11月	Sidaeuichang	I-K Ryu	209-250
5	李康国	Capital in the Twenty-First Century (Korean)	共著	2014年9月	Geulhangari	Thoma Piketty	1-820

		translation)					
6	李康国	Irrational Exuberance (Korean translation)	共著	2014年5月	RH Korea	David Harvey	1-504
7	中戸祐夫	"Northeast Asia: Regional Perspectives for the White Paper on Peace Building," White Paper Series 2015	共著	2015年2月	The Geneva Peace Building Platform	The Geneva Peace Building Platform	53-59
8	庵途由香	地域のなかの軍隊 7巻 植民地編 植民地と軍隊	共著	2015年4月	吉川弘文館	坂本悠一編	
9	倉田玲	「日本国憲法と権力の分立」 「基本的人権と平和の保障」 生田勝義・大平祐一・倉田玲・河野恵一・佐藤敬二・徳川信治・松本克美(著)『法学ことはじめ』所収	共著	2015年3月	法律文化社	生田勝義・大平祐一・河野恵一・佐藤敬二・徳川信治・松本克美	134-151, 152-170
10	石川亮太	Merchant Communities in Asia, 1600-1980 [執筆章: The merchants of the Korea-China Ginseng Trade in the Late Nineteenth Century (Ch.5)]	共著	2014年12月	Pikering & Chatto	Lin Yu-ju and Madeleine Zelin (ed.)	95-108
11	総田芳憲	The North Korea Crisis and Regional Responses	共著	2015年3月	Honolulu: East West Center	Utpal Vias, Ching-Chang Chen, Denny Roy, Jina Kim, Shinichi Ogawa, Jihwan Hwang, Zheng Jiyong, Yoichiro Sato, Nicholas Hamisevicz	70-87
12	斐始美	関東大震災記憶の継承－歴史・地域・運動から現在を問う	共著	2014年	日本経済評論社	共著者: 高野宏康・田中正敬・山田朗・坂本昇・斐始美 他15名	pp. 209 - 222
13	金晶珉	2013年マスコミ関連判決分析報告書	共著	2014年6月	韓国・言論仲裁委員会		
14	金晶珉	言論仲裁委員会の教育教材: マスコミによる紛争どう解決すべきか	共著	2014年6月	韓国・言論仲裁委員会		
15	川瀬俊治	『知っていますか 在日コリアン－問－答』	編著	2014年12月	解放出版社	郭辰雄	
16	李建濟	한국 근현대 문학의 모더니티	単著	2015年2月	선인		
17	元容鎮	텔레비전 비평론	単著	2014年5月	한울 아카데미		

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	徐勝	韓日国交正常化 50 年の過去清算の課題－在日同胞問題を中心に		2015年1月	高麗大学校日本学研究所 国際学術シンポジウム「日韓国交樹立 50 年: ひと・教育・文化」資料集		30-36	査読無
2	徐勝	世界化する安倍の靖国		2014年11月	大韓民国臨時政府記念会『独立精神』		11, 12, 31-42	査読無
3	徐勝	終わらない東アジア平和の旅 1-10		2014年7月	アジア文化コミュニティー『アジア文化』		3-12	査読無

4	山下高行	스포츠의 '장場' 에서의 '상황의 반전' 과 현재의 스포츠 사회학연구	单著	2015年1月	Korean Sociological Review Vol. 6		pp. 1-23	査読有
5	李康国	Piketty's "The Capital in the 21st Century" and the Korean Economy (Korean)	单著	2014年12月	Economy Review 53/ 2		195-203	査読有
6	権学俊	帝国日本と植民地朝鮮の近代都市形成—1920年代～30年代東京・大阪・京城・仁川の都市計画論と記念空間を中心に	单著	2015年3月	『코리아研究』立命館大学코리아研究センター		6, 178-181	査読無
7	権学俊	戦時下における大相撲と皇軍慰問に関する研究	单著	2015年1月	『日本文化研究』東アジア日本学会		53, 5-25	査読有
8	権学俊	日韓両国における朝鮮人特攻隊員に対する意識変容と追悼・忘却	单著	2014年11月	『日本語文学』日本語文学会		67, 495-522	査読有
9	総田芳憲	日朝合意の国際経済要因	单著	2015年3月	코리아研究		6, 1-17	査読無
10	轟博志	古代朝鮮における地方都市の立地と都市プランに関する再検討—新羅溟州治所を事例に—	单著	2014年6月	歴史地理学		56/ 3, 1-22	査読有
11	森類臣	日韓連帯運動の一断面—日本における東亜日報支援運動に関する考察—	单著	2014年	『東アジア研究』17号、東アジア学会		23-42	査読有
12	権明娥	마음을 놓다: 안심의 이소시에이션을 위하여	单著	2014年	『식당논총』59号			査読有
13	戸塚悦朗	龍谷大学における安重根東洋平和論研究の歩み : 100年の眠りからさめた遺墨(上・下)	单著	2014年5月	『社会科学研究年報』44号			査読有
14	李洙任	講演記録 在日コリアンの経済活動 : 移住労働者、起業家の過去・現代・未来	单著	2014年12月	『コリアンコミュニティ研究』5号			査読有
15	李洙任	Under-targeted and missed opportunities : An analysis of Japan's points-based preferential immigration system in the treatment of highly-skilled foreign professionals	单著	2014年5月	『社会科学研究年報』44号			査読有
16	李洙任	日本の帰化行政とインターネット情報の影響 : 行政書士への調査を中心に	单著	2014年4月	『研究紀要』19号			査読有
17	李忠濤	忠犬ハチ公と忠臣楠公—1930年代の日本における「忠」の形象化をめぐる—	单著	2014年5月	『日本学研究』第42号			査読有
18	高賛侑	在日韓国・朝鮮人から見る排外主義と共生の展望	单著	2014年12月	『日本の科学者』2014年12月号			査読無
19	川瀬俊治	アジア各地の反原発運動が一堂に : ノーニュース・アジア・フォーラム in 台湾	单著	2014年12月	『部落解放』702号			査読無
20	川瀬俊治	被害者抜き政治決着は認められない : 日本軍「慰安婦」問題アジア連帯会議で確認	单著	2014年8月	『部落解放』697号			査読無

21	波佐場清	世界の潮 「最も重要な隣国」にどう向き合うか : 慰安婦問題という試金石	単著	2014年10月	『世界』861号			査読無
22	尹健次	在日朝鮮人文学 1960年代後半-80年代	単著	2015年3月	『コリア研究』6号			査読無
23	尹健次	在日朝鮮人の日本人妻	単著	2014年10月	『在日朝鮮人史研究』44号			査読有
24	尹健次	在日朝鮮人の文学 : 植民地時代と解放後, 民族をめぐる葛藤	単著	2014年8月	『人文学研究所報』52号			査読有
25	元容鎮	온라인 공동체 규범인식과 몰입이 운영방식 만족, 지각된 가치, 오프라인 모임의 참여에 미치는 영향관계	共著	2014年10月	『韓国言論学報』第58巻5号			査読有

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	勝村誠	『人民戦線』と中西伊之助一敗戦直後の日本共産党再建をめぐる一断面	2015年2月26日	「西欧中心主義批判と東アジアの過去・現在」第2回立命館大学コリア研究センター・西江大学社会科学研究所共同研究会	
2	徐勝	特別講義「東アジアを学ぶ」	2015年1月26日	第2回ソウル大学校アジア研究所 全国大学院生フォーラム	
3	徐勝	台湾フィールドワーカー 重層するアイデンティティと東アジアの視点	2015年1月23日	京都自由大学	
4	徐勝	『日韓国交樹立50年:ひと・教育・文化』国際学術シンポジウム韓日国交正常化50年の過去清算の課題-在日同胞問題を中心に	2015年1月9日	高麗大学日本学研究所など	
5	徐勝	アルトゥルから南京を見る	2014年12月13日	大静農協3階セミナー室 平和の島連帯韓国委員会	
6	徐勝	南京虐殺と日本軍の特質	2014年12月13日	南京虐殺77周年追慕非武装平和の島宣言大会第6回シンポジウム	
7	徐勝	私の人生から見る人権	2014年12月12日	光山区庁	
8	徐勝	中国と台湾の統一と平和の課題-政冷経熱か?	2014年12月11日	ハンギョレ新聞アジア経済フォーラム 金大中図書館講堂	
9	徐勝	国際シンポジウム《流動化する東北アジア情勢の推移をどのように見るのか-民族統一の活路開拓に向かって-》	2014年11月29日	建国大学校統一人文学研究団, 延辺大学民族文化研究所, 立命館大学コリア研究センター, 朝鮮大学校朝鮮問題研究センター	
10	徐勝	平和権としての人権	2014年9月27日	興土団 世界平和の日	
11	徐勝	特別講義「安倍政権の朝鮮半島政策と日朝合意」	2014年9月26日	統一研究会 平和博物館教育館会議室	
12	徐勝	東アジアの人権の考察	2014年9月24日	ソウル女性プラザ2F セミナー室1、人権連帯	
13	徐勝	東亜人権的幾個論点	2014年9月11日	国立台湾師範大学東亜文化興漢学研究中心	

14	徐勝	東亞人權の幾個論點 東亞學系會議室	2014年9月11日	本校綜合大樓七樓	
15	徐勝	東アジアの分断とその克服	2014年8月28日	台湾大学集思会館、台湾兩岸文化交流基金	
16	徐勝	東アジアを構想する—新自由主義に対して抵抗する	2014年5月14日	順天大学校 15号館 222号室 (智異山園文化研究院および南道文化研究所、順天大学校教授労組共同主管)	
17	徐勝	歴史の中の光州民衆抗争	2014年5月9日	蘆原 (ノウオン) 区庁 キョレハナ	
18	徐勝	在日朝鮮人と祖国の統一	2014年5月7日	慶南大学校北韓大学院大学校 (B101号)	
19	徐勝	「私が見た 43 事件」済州参与環境連帯ホール	2014年4月4日	キョレハナ	
20	桂島宣弘	「近世公共空間」の解体と幕末徳川思想の動向 (基調講演)	2015年1月24日	2015 ソウル・京都 東アジア次世代国際学術大会	
21	桂島宣弘	トランスナショナル・ヒストリーのために	2015年1月10日	高麗大学校日本研究センター国際学術シンポジウム	
22	桂島宣弘	前近代日韓の思想と公共性 (基調講演)	2014年11月22日	漢陽大学校国際学術シンポジウム	
23	桂島宣弘	日韓関係と歴史認識	2015年10月25日	韓国日語日文学会 2014年秋季国際学術大会	
24	桂島宣弘	近代日本における「子ども」の発見と東アジア (基調講演)	2014年9月26日	嘉泉大学校国際学術大会	
25	李康国	What are Fundamental Causes of Economic Growth: Institutions? Geography? or Genetics?	2014年8月11日	The 16th KEA International onference	
26	佐々充昭	趙素昂の大同思想とアナーキズム—「六聖教」の構想と「韓薩任」の結成を中心に (韓国語)	2014年11月28日	グローバル時代韓国的価値と文明研究第4次国際学術大会「東アジア文明の共同体意識と社会統合—韓・中・日の大同思想と大同運動」(圓光大学宗教問題研究所主催、韓国学中央研究院後援)	
27	佐々充昭	韓国近代における檀君ナショナリズムの展開—李能和の朝鮮神教論を中心に—	2014年9月22日	ソウル大学校宗教科外国人著名学者招聘講演会	
28	佐々充昭	朝鮮近代史における<忘れられた>記憶—青山里戦闘における大倭教徒・徐一と金佐鎮の活動をめぐって	2014年7月26日	朝鮮史研究会関西支部会 2014年度7月例会	
29	中戸祐夫	安倍政権下の日本の対北朝鮮政策—日朝合意とその展望—	2014年11月13日	북-일 관계 심층 분석과 남북한 및 동북아 정세 전망 In-depth analysis of relationship between North Korea and Japan and outlook for the state of affairs about inter-Korean and Northeast Asian	
30	中戸祐夫	A Shift in Japan's North Korean Policy	2014年11月1日	The Unification of the Korean Peninsula for the East Asian Prosperity: Roles and Positions of the Neighbors	

		under the Abe Administration			
31	中戸祐夫	김정은체제하의 북한의 핵전략 -북한은 언제 핵실험을 하며 언제 핵실험을 하지 않는 것인가-	2014年10月30日	김정은 체제 출범 이후 한반도 정세 (한중일 국제학술회의)	
32	鄭雅英	トランスナショナルな在外同胞生活史-渡日济州島人と中国朝鮮族を中心に	2014年11月29日	統一人文学世界フォーラム2014 「東北アジアにおけるコリアンの民族主体性の継承と変容」	
33	鄭雅英	韓国における外国人政策をめぐって	2014年7月23日	中国朝鮮族研究学会2014年第2回研究会〈関東〉	
34	権学俊	戦後日韓関係と歴史問題を巡る葛藤メカニズム	2014年11月13日	現代日本社会研究会月例研究会	
35	権学俊	日本における排外主義とレイシズム	2014年9月27日	韓国社会文化研究会第78回西部研究会	
36	権学俊	日本文化の現代的価値と日本研究	2014年8月22日	韓国日本学会第89回学術大会	
37	権学俊	韓国における朝鮮人特攻隊員のイメージ変容に関する研究	2014年7月31日	戦後戦跡研究会	
38	庵途由香	朝鮮軍連隊資料について	2015年1月11日	戦時期朝鮮社会の諸相研究会	
39	庵途由香	日本における日本軍「慰安婦」問題の現況と課題	2014年12月20日	2014年韓国社会学会大会シンポジウム	
40	秋葉武	韓国の社会的企業と社会的経済-ミクロ・メゾからマクロへ-	2015年3月15日	日本NPO学会第16回年次大会	
41	石川亮太	근대 오사카의 조선미 유통: 상인과 상인단체를 중심으로 (近代大阪の朝鮮米流通: 商人和商人团体を中心に)	2014年11月29日	産業史研究会 (韓国)	
42	石川亮太	1880년대 부산 일본 조계의 중국인 거주문제: 개항장을 둘러싼 이동과 제도의 상극 [1880年代釜山日本租界の国人居住問題: 開港場をめぐる移動と制度の相克]	2014年11月28日	2014 동아시아 해양도시 국제학술회의: 해역세계에서의 이주와 커뮤니티 [2014 東アジア海港都市国際学術会議: 海域世界における移住とコミュニティ]	
43	石川亮太	明治期の釜山水産会社について	2014年10月5日	科学研究費補助金「東アジアにおける中国海産物市場の形成とアイス社会」研究会	



44	石川亮太	토론 (コメント)	2014年9月25日	동학농민운동 120년 청일전쟁 120년 기념 국제학술회의: 1894, 5년의 역사상과 동아시아의 역사교육 [東学農民運動 120年清日戦争 120年記念国際学術会議: 1894・5年の歴史像と東アジアの歴史教育]	
45	石川亮太	1910年代朝鮮華商の対中国貿易と決済: 辛亥革命・上海信用危機への対応から	2014年8月24日	東アジア移民に関する国際セミナー	
46	石川亮太	朝鮮開港期における華商の移動と居留地問題: 釜山「徳興号事件」の検討	2014年8月23日	落星岱経済研究所月例発表会「식민지제국과 사람들의 이동」	
47	石川亮太	日本居留地における外国人居住問題: 1880年代釜山を中心に	2014年6月21日	朝鮮史研究会関西部会 2014年6月例会	
48	石川亮太	開港期朝鮮華僑への視角—1883年徳興号事件から見た華商の移動と国際秩序—	2014年5月17日	神戸華僑華人研究会第150回研究例会	
49	石川亮太	木理史「1920年代南満洲鉄道における撫順炭輸送」へのコメント	2014年4月26日	人文地理学会第134回歴史地理研究部会	
50	総田芳憲	Transformation of North Korea's Economic Relations	2014年12月12日	Six University Annual Conference: "Are we building a safer Asia-Pacific?"	
51	総田芳憲	日朝合意とその展望—南北朝鮮との関係を中心に	2014年10月30日	韓中日国際学術会議: 「金正恩体制発足後の韓半島情勢」	
52	轟博志	朝鮮王朝時代における『山経表』の系譜	2014年9月20日	2014 秋季学術大会	
53	轟博志	山と峠の文化の日韓比較研究	2014年6月2日	慶尚大学校慶南文化研究院招待講演	
54	森類臣	The Realities of Narratives in Media Surrounding Recent Contacts between Japan and North Korea	2014年9月18日	International Conference 「Trust Building for Settlement of Peace in the Korean Peninsula and Construction of the World Peace park」、The Nara-Sarang Research Association/The Korea Political Science Society/The Korean Association of DMZ Study	
55	森類臣	コメント発表	2014年10月28～29日	The 1st World Conference on North Korean Studies	
56	森類臣	北韓メディアの現況と研究	2014年10月31日	東国大学<分断/脱分断研究団・一般共同研究課題チーム共同国際学術セミナー「<脱>冷戦と分断理科の新しい地平」	
57	森類臣	コメント発表	2014年11月8日	ワークショップ「韓国におけるジャーナリズム環境の変化と代替メディアの登場」、日本マスコミュニケーション学会、2014年度秋季研究発表会、	
58	金相奎	戦時体制期における朝鮮人兵力動員の構造—陸軍兵事部の役目を中心に—	2014年10月	立命館大学コリア研究センター第67回月例研究会	
59	戸塚悦朗	歴史認識と日韓の「和解」への道—安重根東洋平和論研究は日本を孤立から救うか?—	2015年3月	シンポジウム「戦後70年、日韓基本条約50年にあたって—日韓の「和解」のための歴史認識とは」	李泰鎮、

60	李忠浩	植民地時代の日本語雑誌における(迷信)―『警務彙報』を中心に―	2014年5月	韓国日本語文化学会	
61	李忠浩	頼山陽の『日本外史』における楠正成顕彰について	2014年6月	韓国日語日文学会	
62	青柳純一	在韓原爆被害者2世の遺稿集(日本語版)を出版して―3・11後の日本で金亨律の生涯に学ぶ	2014年7月	立命館大学コリア研究センター&立命館大学政策科学研究科オープンリサーチ特別研究会	
63	裴貴得	1930年代、朝鮮教会の満州伝道	2014年5月	韓国日本近代学会第29回国際学術大会、韓国東明大学校	
64	元容鎮	記憶戦争―『竹林はるか遠く―日本人少女ヨーコの戦争体験記』と朝鮮人カミカゼ卓庚鉉―	2014年12月	立命館大学コリア研究センター第69回月例研究会	

#### 4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	国際シンポジウム「北朝鮮研究の新たな視座」―生活、文化、歴史―	同志社大学烏丸キャンパス	2014年8月	200名	同志社大学コリア研究センター、京都コリア学コンソーシアム
2	RiCKS 特別研究会「ヘイトスピーチとレイシズムを問う―日本の社会と教育現場の有り方から」	立命館大学びわこ・くさつキャンパス	2014年10月	50名	社会システム研究所アジア社会研究会、拠点形成型R-GIRO研究プログラム「オール立命館による学際統合型平和研究拠点」、立命館・今に向き合う会
3	立命館土曜講座・特別講演会「ヘイトスピーチとレイシズムを考える―マルク・ブロック「歴史のための弁明」を手がかりに」	立命館大学衣笠キャンパス	2014年10月	250名	
4	中村福治教授逝去10周年記念学術シンポジウム「セウォル号沈没事件以後の朝鮮半島と日本」	立命館大学衣笠キャンパス	2014年11月	100名	
5	立命館大学政策科学研究科オープンリサーチセミナー	立命館大学衣笠キャンパス	2014年11月	40名	立命館大学大学院政策科学研究科公共政策クラスター リサーチプロジェクト「グローバリゼーションと地域圏の形成」立命館大学産業社会学部「東アジアにおけるレイシズムと排外主義」研究会
6	第2回西江大学社会科学研究所との共同研究会「西欧中心主義批判と東アジアの過去・現在」	立命館大学衣笠キャンパス	2015年2月	30名	西江大学校社会科学研究所、西江大学校現代政治研究所SSK研究チーム(脱西欧中心主義)
7	「一戦後70年、日韓基本条約50年にあたって―日韓の「和解」のための歴史認識とは」	龍谷大学 アバンティ響都ホール	2015年3月	100名	龍谷大学社会科学研究所附属安重根東洋平和研究センター 安重根東洋平和論研究会
8	コリア研究センター・月例研究会	立命館大学衣笠キャンパス	2014年度 計8回	20名 ～30名	

#### 5. その他研究活動(報道発表や講演会等)

No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	勝村誠	【論文翻訳】「韓国高校歴史教科書における東学農民運動の叙述の変遷」	『コリア研究』6号	2015年3月
2	徐勝	日韓関係の焦点	京都新聞朝刊	2015年1月
3	徐勝	セウォル(世越)号事件が示す韓国政治社会の病弊	読書新聞	2015年1月
4	徐勝	金大中とマンデラ	アジア文化	2014年9月
5	徐勝	金大中とネルソン・マンデラ	アジア文化	2014年9月
6	徐勝	日本の憲法9条と9条運動	読書新聞	2014年8月
7	徐勝	国家暴力と光州人権都市	チュモクパブ	2014年8月

8	徐勝	日本の集団自衛権・解釈改憲と東アジア平和の地形	オーマイニュース	2014年7月
9	徐勝	民主化以降の東アジアの国家暴力	光州トラウマセンター 『国家暴力とトラウマ国際会議正義の回復のための国家と市民の役割』資料集	2014年5月
10	徐勝	三つの島の連帯と東アジアの平和	美術展国際シンポジウム資料集「沖縄、台湾、済州島の間」 済州特別自治道刊	2014年4月
11	権学俊	生活の中の植民地主義	『国際平和ニュージウムだより』	2014年8月
12	権学俊	韓国の社会的企業	山本隆編『社会的企業論：もうひとつの経済』所収、法律文化社	2014年10月
13	森類臣	『『社会的経済』紀行～最新のトレンド発信基地ソウルから～』	『コリアン・スタディーズ』2号、国際高麗学会日本支部、pp.142-147	2014年6月
14	森類臣	[翻訳] Suzy Kim 「北朝鮮のモダン・タイムス：創建期（1945-50年）の情景から」[原著タイトル Suzy Kim 「북조선혁명의 일상생활, 1945-1950」]	同志社コリア研究センター・立命館大学コリア研究センター主催国際シンポジウム「北朝鮮研究の新たな視座—生活・文化・歴史」資料集	2014年8月
15	森類臣	[翻訳] 崔昞鳳「国語学史の観点から見た金壽卿（板垣竜太氏との共訳）」	『同志社コリア研究叢書 2. 北に渡った言語学者・金壽卿の再照明』	2015年1月30日
16	裴始美	日本そしてサハリンへ送られた朝鮮人兵士の軌跡を丹念に追う	『インパクション』第195号	2014年6月
17	裴始美	小野容照『朝鮮独立運動と東アジア—1910—25—』(思文閣出版、2013年3月) 書評	『日本植民地研究』第26号	2014年6月
18	裴始美	翻訳「김수경 (金壽卿) 의 조선어 연구와 일본-식민지, 희망, 월북 (金壽卿の朝鮮語研究と日本—植民地、解放、超北—)」	『社会科学』通巻102号(第44巻第1号)	2014年5月
19	権明娥	コラム	『한겨레 (ハンギョレ新聞)』	2014年11月～現在
20	権明娥	コラム	『부산일보 (釜山日報)』	2014年9月～現在
21	青柳純一	編訳書『被ばく者差別をこえて生きる』	三一書房	2014年4月
22	川瀬俊治	連載「韓国原爆」	季刊誌『はぬる はうす』	2014年(4回)
23	川瀬俊治	「インタビュー 被災者12人の証言」	「部落解放」2014年4, 5, 6月号	
24	川瀬俊治	書評 青柳純一編訳著『被ばく者差別をこえて生きる』核の暴力支配に挑む	ピープルズ・プラン (65)	2014年7月
25	波佐場清	「最も重要な隣国」にどう向き合うか——慰安婦問題という試金石	『世界』2014年10月号	2014年
26	張惠英	新刊紹介 社会	『コリア研究』6号	2015年3月
27	青柳純一	被ばく者差別をこえて生きる：韓国原爆被害者2世金亨律とともに	三一書房	2014年

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1					

7. 科学研究費助成事業						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	文京洙	韓国の地域社会における市民事業の展開とローカル・ガバナンスに関する研究	基盤研究 (C)	2013年4月	2016年3月	代表
2	佐々充昭	中国東北部における韓国系独立運動関連史跡の観光地化に関する研究	基盤研究 (C)	2013年4月	2016年3月	代表
3	鄭雅英	中国朝鮮族の移住労働における女性の役割と「トランスナショナルな家族」の研究	基盤研究 (B)	2012年4月	2015年3月	代表

4	鄭雅英	日韓の国際移動におけるローカルネットワークとコミュニティの生成と変容に関する研究	基盤研究 (C)	2012年4月	2015年3月	分担者
5	秋葉武	政治的流動化過程における日韓NPO	基盤研究 (C)	2012年4月	2015年3月	代表
6	石川亮太	朝鮮開港後における華商の貿易決済—東アジア地域史の視点から	若手研究 (B)	2013年4月	2016年3月	代表
7	松本 克美	児童期の性的虐待被害者のレジリエンスを支援する時効法改革の提言	新学術領域	2014年4月	2016年3月	代表
8	桂島宣弘	東アジア翻訳語ネットワークとナショナルヒストリーの形成に関する思想史的研究	基盤研究 (C)	2014年4月	2017年3月	代表
9	宋基燦	朝鮮学校卒業生の世界に関する民族誌的研究	基盤研究 (C)	2014年4月	2017年3月	代表
10	轟博志	朝鮮における古代道路の歴史地理学的復原に関する基礎的研究	基盤研究 (C)	2013年4月	2016年3月	代表
11	斐始美	「大正～昭和戦前期、東京における東アジアの思想交流」	若手研究 (B)	2014年4月	2017年3月	代表

8. 競争的資金等(科研費を除く)						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	勝村 誠	国際社会における紛争解決と葛藤解消に向けた学際統合型平和研究・テーマ2「地域紛争と葛藤の原因と発展力学」	平成26年度 文部科学省・私立大学 戦略的研究基盤形成支援事業	2014年6月	2017年3月	グループリーダー
2	勝村 誠	安重根に関する研究助成	奨学寄附金(韓国歴史財団)	2015年1月	——	代表者

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
1								

以上